

平和が危機にさらされています!

アメリカで起きた、同時多発テロ事件。あってはならない許されない事件で、怒りを覚えます。犠牲者の皆さんに心から哀悼の意を表します。アメリカの武力報復のみの考えは異常です。確実により多くの罪のない子供達市民の生命を危険にさらすことになるからです。日本は憲法9条、国際法にも認められていない米軍支援をするのではなく、犯罪人を法で裁く為にすべての適切な措置が取られるよう、世界各国と協力すべきと考えます。

小泉首相の靖国参拝強行、侵略戦争美化の教科書登場、その根は同じで、私たち国民の平和への願いと逆行しています。6月議会でこの教科書の不採択を求めましたが、市教委が良識をもって不採択とされたことに敬意を表します。今後とも、笠岡市が平和と憲法を守り、輝ける21世紀の砦となることを願って、11日一般質問に立ちました。

坂本音市奨学金制度の充実を求めます

この度の制度の再開にあたって「今後募集定員数3名を増員して欲しい。県下の高校生は3人に1人が私立に通っている。採用も3人に1人は私立の生徒として欲しい。支給額の9000円は公立の月額授業料に準じたもの。私立はその3倍。公私ともに授業料補助の視点に立てないか」と質問しました。

市長は、「市の財政、応募状況を見ながら増員については今後検討したい。」

国保制度は国民全員保険です!

国保料滞納154世帯に7月1日付けで、保険証を取り上げ、医療費10割負担となる資格証明書が発行された件で質問しました。



(元気に遊ぶ生徒たち)

公私の比率については考えていない。応募者の内容を十分検討して奨学生を決めていく。」と答弁しました。

悪質な滞納者を無くすことは当然ですが、約3分の1の世帯が払えないで困っていることが予想され、その中に、乳幼児が8人いること。病気になっても病院をあきらめ、命をおびやかさるることにもなります。

生存権を保障し、行政の責務を果たすうえで、特に放置できません。(A)



(病院の待ち合室で)

(A)「画一的な対応ではなく、実態を重視し、暖かい対応を、特に乳幼児のいる世帯へは配慮を、市が発行する文書を相談に行きやすいように、納税さいそくでなく柔らかい表現で。」

これらを踏まえ、減免規定を分かりやすく明確に」を求めました。

関係部長は「窓口に来れば、相談に乗り保険証を発行する。文書表現は柔らかくするよう検討する。規定は変えられない。」と答弁しました。

民生水道委員会で

北木島における産業廃棄物処分業許可申請について、島内に限るという笠岡市の意見を反映させず、島外からの持ち込みも許すという県の方針が明らかになりました。

私は笠岡市の申し入れに反すること。これを許せば、北木島は第2の香川県の豊島のように、ゴミの島への道を歩むこととなります。

以上2点から、笠岡市議会としても県に向けて意見書を上げ、反対の意思表示をすべきと提案致しました。残念ながら、合意は得られませんでした。

新聞報道などで、ある程度島の人達の意に添った解決に向かっているとい(A)

乳幼児医療費無料化を国の制度とすべきです

今や全都道府県、全市区町村で実現された乳幼児医療費無料化制度を「国に向けて制度化するよう、市長会などを通じて働きかけるべき」と求めました。

市長は「国の制度として確立されるよう、市長会などを通じて要望していく」と答弁しました。

市制50周年に向けてカブトガニ博物館の充実を

「カブトガニ博物館」
館長は「来年の市制50周年に当たり、カブトガニ博物館のリニューアルを行ってほしい」と願う。安藤教育長は「開館15周年となる2004年度を目途にリニューアルを取り組みたい。来年度を初年度にした年度計画を策定した。」

に、館内展示の充実、シアター映像の見直しなどを考えている。市制50周年の企画としては、恐竜園を招いての原野展や子どもへのイラスト指導、こどもの目を中心にした催しなどを考えている」と答えた。

04年度目標にリニューアル

カブトガニ博物館

9/12付 山陽

市民参加の視点で記念スポーツ行事を

(A)うことですが、まだまだ安心できません。

私は島の人達に負担を強いる県行政には反対です。島の人達の意見に沿った全面解決に向け頑張ります。

7/2 今年も平和行進に参加しました。私も、孫たちも元気に「こんにちは！平和行進です。」と沿道の人達に声をかけていました。8月4日 よっちゃんれに参加。参加された皆さんと共に楽しいひとときを過ごしました。

生江浜の盆踊りのときには失礼しました1年前から岡山父母懇の皆さん



(千羽鶴をまきあげる小学生)

8/18 私学助成大幅増額にむけて今年も岡山父母懇の皆さんと一緒に署名配布に行ってきました。終わってから庭で、「ご苦労さん会」をしました。



飛鳥にて、ダイビングを楽しむ皆さんと、島の自然は美しい。



(みんな汗流しおどる) なんと約束していた高知よさこい祭りの視察に行っていたため参加できませんでした。

8月6日 ピースラン実行委員会の皆さんと一緒に、原爆慰霊式の式典に参加させていただきました。語り部の免田さんと親しくお話しをする機会もでき、核廃絶の念をあらたに致しました。



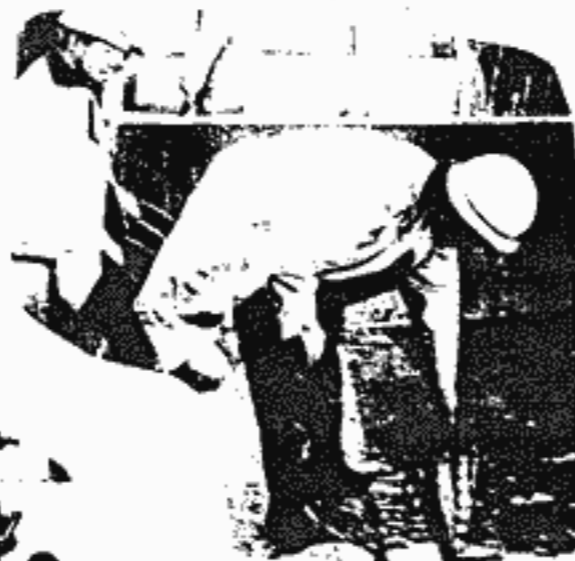
「私は今もまだ、語りつぐことと、少しでも平和への運動を大きく…」と語る免田さん
8月中旬、9月上旬 2回にわたり、島の人達の声を聞いてきました。

今後とも島の人達が中学校統廃合反対、行政と協力して自らの手による島の振興の道を切り開かれるよう願っています。

あしあと

8月20、21日 台風と大潮が重なり、潮位が異常に高くなりました。伏越、住吉、金浦で、消防団の皆さんが、夜昼なく警戒の為に出勤されていました。大変お疲れさまでした。

現地顔を出ささせていただき、ご苦労が分かりました。



「もう大丈夫」助団長

9/30 ウォークラリー44Kmに挑戦。私は30Km地点でリタイアしましたが、夫と卒業生はラリーを楽しみながら完歩。

ありがとうございました。

市役所の皆さんお世話になりました

- ☆中央小校庭横の溝、堆積砂の取り除き
- ☆春日台危険箇所へのガードレール取り付け
- ☆生江浜地区の路面修理
- ☆金浦南水門河口の石垣土手修理



(集会あわてた数にアモ行健)

育てる母親の、子供、社会への熱い思いが語られました。

9/8 ドングリ球場での高校野球を応援。久々のなつかしい顔、子供達は元気よく頑張っていました。

9/23 ライフパーク倉敷で、岡山県の母親大会があり、笠岡からも10名が参加し、全体では約400名の参加でした。

オープニングで岡山父母懇の皆さんと一緒に歌を歌わせていただきました。



(きれいな川)

8/25・26

滋賀県大津で開かれた日本母親大会へ、100名を超える岡山からの参加者と共に参加しました。

全国から延べ21000人の母親が集いました。命を産み



夫からのひとこと

今年4月で、皆様のお力で妻を市議会におくっていただき、1年が過ぎました。4月以降、地元を中心に1年目のご挨拶に伺っております。何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

山陽高校教諭

樋之津(旧姓林)周明